デジタルアナウンサー

DA-310

取扱説明書

このたびは、「デジタルアナウンサー DA-310」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとも、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
記載した注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示について

△ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

ＡＣ 100 Ｖ以外では使わない。
日本の家庭用電源（AC100V）以外のコンセントに接続すると、発火や感電、故障の原因となります。

風呂、シャワー室で使用しない。
感電の原因となります。

付属の電源アダプタ以外は使用しない。
火災や感電、故障の原因となります。

タコ足配線はしない。
異常過熱、故障の原因となります。

電源アダプタのコードが傷んだら使用しない。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

本機の上や近くに水などの入った容器や、小さな金属を置かない。
中に入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら電源アダプタを抜く。
火災や感電、故障の原因となります。

水につけたり、水をかけない。
火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で操作しない。
感電の原因となります。

表示された電源電圧以外では使用しない。
火災や感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込む。
差し込み部分の刃に金属などが触れると、火災や感電の原因となります。

電源アダプタのコードを傷つけたり、重いものを載せたり、無理に曲げたり、加工しない。
感電やショートによる発火の原因となります。

穴や隙間にピンや針金などの金属や、燃えやすいものを入れない。
中に入った場合は、すぐに電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

万一、内部に水や金属などの異物が入ったら、使用しない。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタを抜いて、販売店にご連絡ください。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源を抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに電源アダプタを抜いて、販売店にご連絡ください。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない。
感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器本体および付属品を改造しない。
火災や感電、故障の原因となります。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態のまま使用しない。
発火の恐れがあります。すぐに電源アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

直射日光のあたる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない。
火災や感電、故障の原因となります。

不安定な場所や振動、衝撃の多い場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。

電源アダプタのコードを熱器具に近づけない。
コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となります。

使用中に通風孔をふさがない。
過熱して発火する恐れがあります。

お手入れの際は、電源アダプタを抜く。
感電の原因となります。

移動させるときは、電源アダプタを抜き、コード類をすべて外す。
コードに傷がつき、火災や感電の原因となります。

電源アダプタを抜くときはコードを引っ張らない。
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず電源アダプタの本体部分を持って抜いてください。

⚠注意

長時間ご使用にならないときは、電源を抜く。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因となります。

水滴がついたら乾いた布でふき取る。
感電の原因となります。

上手にご利用いただくために

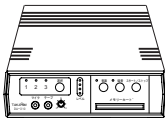
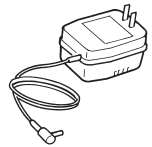
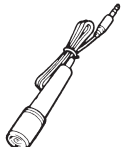
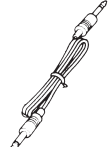
プラスチック部分は、シンナー･ベンジン･アルコール・化学ぞうきんなどでふくと、仕上げをいためますので、ご使用にならないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼってから汚れをふき取り、やわらかい布でカラぶきしてください。

不具合が起きたときは

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、お買い上げの販売店又は最寄りの当社営業所へご連絡ください。

■ 本文には、「警告」「注意」以外に、誤った取り扱いをすると本来の機能を発揮できない内容や知っていると便利な内容を「お願い」および「ワンポイント」に分けて記載しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

お使いになる前に

■ セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

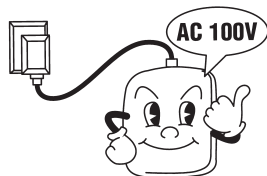
本体 （1台）	フラッシュ メモリーカード （1枚）	電源アダプタ （1個）	マイク （1本）	録音用コード （1本）	取扱説明書 （1式）
	 ※ 以後メモリーカードといいます。				 ※ 保証書は本書内に印刷

■ 取り付けについて

- 本機は、展示品の案内などの音声案内またはＰＢＸ（構内交換機）などの電話保留音として使用できます。
- ＰＢＸ（構内交換機）へ接続するときは、販売店または弊社営業所へご相談ください。

■ 電源について

電源は・・・

- 電源アダプタは、いつもコンセントに接続してお使いください。
- 電源アダプタがはずれたり、停電のときは、本機は使用できません。

停電したときは・・・

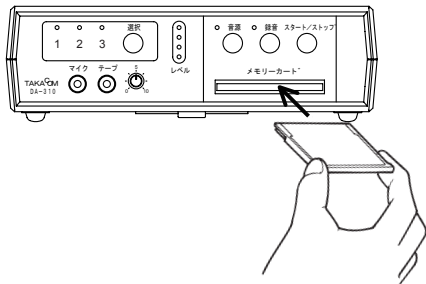
- 停電中は、本機は使用できません。停電が復旧すると、停電前の状態で動作します。
  ただし、音声案内でご使用のとき、案内予約されていても、その予約は解除されます。
- 停電しても、録音内容は消えることはありません。

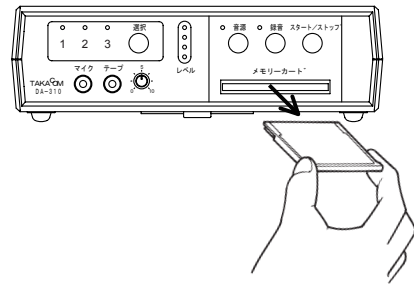
- この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　　　　ＶＣＣＩ－Ｂ
- 本機の仕様は、国内向けになっていますので、海外ではご利用できません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本機の故障・誤動作または不具合により、展示案内などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

メモリーカードの出し入れ

◎ 添付のメモリーカードを入れます。

■ 入れかた

1 メモリーカードが入っていないときは、チャンネルランプが、早く点滅しています。
2 メモリーカード挿入口から、ラベル面を上にして、しっかり奥まで差し込みます。

■ 出しかた

1 録音中（録音ランプが点灯または点滅）または送出中（チャンネルランプがゆっくり点滅）でないことを確認します。
2 メモリーカードの両端を、手でつまんで引き出します。

メモリーカードについて

- メモリーカードは、音源メッセージ専用です。
- メモリーカードは、交換ができます。
  - ・メモリーカードを本機から抜いても音源メッセージは消去されません。（電池は必要ありません）あらかじめ録音したメモリーカードを用意しておけば、カセットテープと同じように、音源メッセージなどを交換してご利用になれます。
- １枚のメモリーカードで３種類の音源メッセージが録音できます。
- メモリーカードは、録音時間が 30 分のカードが添付されています。（ＧＦＣ−３０Ｍ）
- メモリーカードの録音残時間が 5 分以内のときは、カードを挿入したときに 1 秒間レベルランプが点滅します。

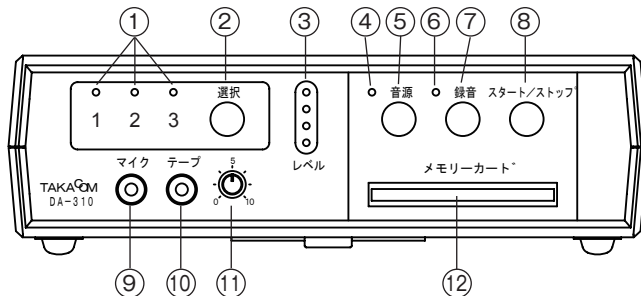
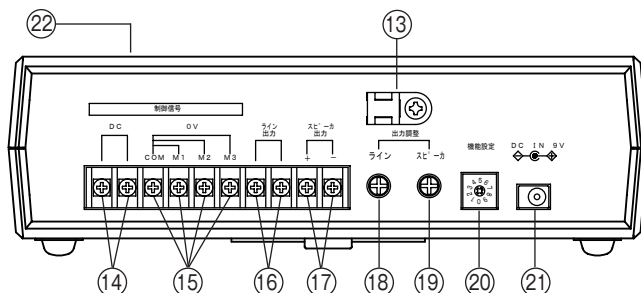
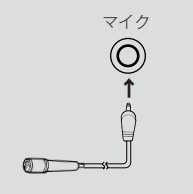
STOP お願い

- メモリーカードを出し入れするときは
  - ・必ず、録音中や送出中でないことを確認してください。
  - ・録音中や送出中に、メモリーカードの出し入れを行うと、メモリーカードが壊れたり、録音時間が短くなる場合があります。
- メモリーカードに重いものをのせたり、強い力を加えないでください。

ワンポイント

- メモリーカードが入っていないときは、すべてのチャンネルランプが点滅します。
- メモリーカードの入れかたが悪いときは、レベルランプが点滅します。
- メモリーカードが正しく入っているときは、選択ボタンで選ばれたランプが
  - ・早く点滅しているときは、音源メッセージが録音されていません。
  - ・点灯しているときは、音源メッセージが録音されています。

各部の名前とはたらき

正面

後面

番号	名　　前	機　　　能 (はたらき)
1	チャンネル 1 ～ 3 ランプ	チャンネルが選択されているとき点灯し、音源メッセージが録音されていないときは早い点滅、音源メッセージ送出中はゆっくり点滅します。
2	選択ボタン	チャンネルを選択するとき押します。押すごとに、 チャンネル 1 → 2 → 3 → 1 → ･･･ の順に選択します。
3	レベル 1 ～ 4 ランプ (下から 1,2,3,4)	録音 / 再生中、録音開始前のモニタ中、音源送出中に音声レベルを 1 ～ 4 で表示します。 カードエラーのとき、その番号をレベル 1 ～ 4 で早い点滅表示します。 カード挿入時録音残時間が 5 分以内のときに 1 ～ 4 が 1 秒間早い点滅表示します。
4	音源ランプ	音声案内または電話保留音にセットされているとき点灯します。
5	音源ボタン	音声案内または電話保留音にセットおよび解除するとき押します。
6	録音ランプ	録音準備中は点灯し、録音中は点滅します。
7	録音ボタン	録音するとき押します。
8	スタート／ストップボタン	録音や再生するとき押します。
9	マイク入力ジャック	マイクから録音するとき、マイクを挿入します。
10	テープ入力ジャック	テープレコーダから録音するとき、テープレコーダの出力を入力します。
11	内蔵スピーカ出力調整ボリューム	再生及び音源送出中のスピーカ音量を調節します。
12	メモリーカード挿入口	メモリーカードを挿入します。
13	配線結束止め	交換機などからの制御線を固定します。
14	制御入力端子 (DC 入力)	DC 電圧で起動させるとき、交換機などからの制御線を接続します。
15	制御入力端子 (接点入力)	無電圧メーク信号で起動させるとき、交換機などからの制御線を接続します。
16	ライン出力端子	外部アンプへの音声案内や交換機などへ電話保留音を出力する端子です。
17	スピーカ出力端子	スピーカへ音源を出力する端子です。
18	ライン出力調整ボリューム	ライン出力を調節するボリュームです。
19	スピーカ出力調整ボリューム	スピーカ出力を調節するボリュームです。
20	機能設定スイッチ	音声案内や電話保留音に設定する機能スイッチです。
21	電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続します。
22	スピーカ	録音内容を拡声します。(スピーカは、上面のスリット内にあります)

音源を録音する

◎ ご使用の前に、メモリーカードへ音声案内や電話保留音などの音源メッセージを録音します。１枚のメモリーカードで３種類の音源メッセージが録音できます。
◎ マイクまたはテープレコーダから録音します。

■ 音源を録音する

1

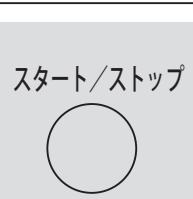
準備
マイクを正面のマイク入力ジャックへ接続する

2

(選択) を繰り返し押して、チャンネル番号を選ぶ

● 選んだチャンネルのランプが点灯または点滅します。

3

(録音) を約２秒間押す

● 「ピ・ピ・ピ」と鳴ります。
● 録音ランプが点灯します。
● レベル１～４ランプが入力レベルを表示します。

4

(スタート/ストップ) を押す

● 「ピ」と鳴ります。

5

マイクに向かって録音を始める

● 録音ランプが点滅します。
● レベル１～４ランプが入力レベルを表示します。

6

録音が終わったら、
(スタート/ストップ) を押す

● 録音ランプが消灯およびチャンネルランプが点灯します。

■ 音源を再生する

1 (選択) を押して、チャンネル番号を選ぶ。
2 (スタート/ストップ) を押す。
・再生音がスピーカからきこえます。再生が終わると、再生状態を解除します。
・再生中に (スタート/ストップ) を押すと、再生状態を解除します。
・再生レベルがレベルランプで表示されます。
・再生音量は、内蔵スピーカ出力調整ボリュームで調節できます。

■ 音源を消去する

1 (選択) を押して、チャンネル番号を選ぶ。
2 (録音) を２秒以上押し、「ピ・ピ・ピ」と鳴ったら手を離す。
3 (録音) を押すと、待機状態に戻る。

■ テープレコーダから録音するとき

1 あらかじめテープレコーダへ音源を録音しておきます。
2 録音用コードで、テープレコーダの出力（イヤホンジャック等）と本機正面の「テープ入力ジャック」を接続します。
3 左記「音源を録音する」の手順で、
① 手順３でテープレコーダを再生し、音源の冒頭で一時停止しておきます。
・スピーカからメッセージが聞こえます。
・録音レベルはテープレコーダで調節してください。
② 手順４で、「ピ」と鳴ったら、テープレコーダを再生させます。
③ 録音が終わったら手順６へ進みます。

ワンポイント

● 録音のやり直しは、手順１から行ってください。
● 録音は、マイクから５～10cm の位置で行ってください。
● 入力レベルの目安は、大きな音の入力時にレベルランプの「赤」が点灯する程度です。
● 手順３で (録音) を押してから、約２分間、何もしないと録音が解除になります。
● 音源セット中（音源ランプ点灯）、録音および再生はできません。

音源をセットする

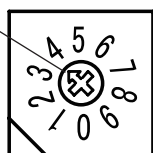
◎ 本機は、ＰＢＸ（構内交換機）などの電話保留音または展示品の案内などの音声案内として使用できます。機能設定は、機能設定スイッチにより切り替えます。

■ 機能一覧

設定番号	機能	動　　　作
0	電話保留音	起動信号がある間、チャンネル１～３の内、あらかじめ選択されているチャンネルの電話保留音を連続して送出します。起動信号がなくなると、送出を停止します。
1		起動信号があると、チャンネル１～３の内、あらかじめ選択されているチャンネルの電話保留音を１回送出します。
2		チャンネル１～３の内、あらかじめ選択されているチャンネルの電話保留音を連続して送出します。起動信号は必要ありません。
3	音声案内	起動信号があると、チャンネル１～３の内、該当の音声案内を、１回送出します。送出中、次の起動信号がきてもその起動信号は無視されます。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ１の起動信号のときは、チャンネル１を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ２の起動信号のときは、チャンネル２を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ３の起動信号のときは、チャンネル３を送出します。
4		起動信号があると、チャンネル１～３の内、該当の音声案内を、１回送出します。送出中、次の起動信号がくると、現在送出中の音声案内を停止し、その起動信号に該当する音声案内に切り替わります。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ１の起動信号のときは、チャンネル１を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ２の起動信号のときは、チャンネル２を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ３の起動信号のときは、チャンネル３を送出します。
5		起動信号があると、チャンネル１～３の内、該当の音声案内を、１回送出します。送出中、次の起動信号がくると、その起動信号に該当する音声案内は予約され、受付順に、順次送出します。(予約は３つまで受付ます) ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ１の起動信号のときは、チャンネル１を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ２の起動信号のときは、チャンネル２を送出します。 ・制御入力端子ＣＯＭ－Ｍ３の起動信号のときは、チャンネル３を送出します。
6		チャンネル１～３の内、あらかじめ選択されているチャンネルの音声案内を連続して送出します。起動信号は必要ありません。
7	未使用	機能しません。(チャンネル１～３ランプの点滅およびピピピ ･････ と鳴り続けます)
8		
9		

■ 機能設定のしかた

1 電源を切ります。

2 ＋ドライバーで、後面の機能設定スイッチの矢印を設定番号に合わせます。

■ チャンネル番号の選択のしかた

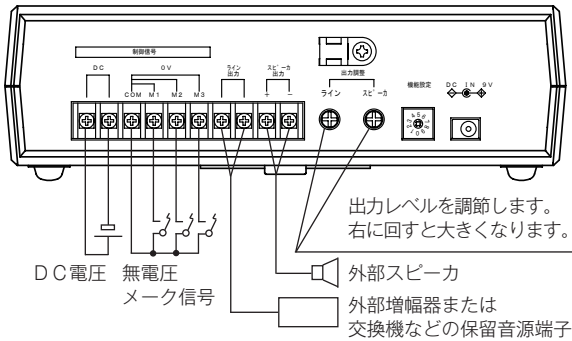
1 音源がセットされているときは、(音源) を押して（約２秒）、セットを解除します。

2 (選択) を押して、チャンネル番号を選ぶ。

● (選択) を押すごとに、「チャンネル１→２→３→１→２･････」の順に選択します。

● 選択されたチャンネルランプが点灯または点滅します。

選択

■ 起動信号と出力

1 電話保留音としてお使いのとき

① 起動信号

次の２種類あります。

- 制御入力端子（ＤＣ入力）のＤＣ端子間にＤＣ電圧（5V ～ 48V）が加わると起動します。
- 制御入力端子（接点入力）の COM 端子と M1 端子間に無電圧メーク信号が加わると起動します。

② 出力

- [ライン出力] および [スピーカ出力] へ出力します。
  - ・交換機などの電話保留音としてご使用いただく場合は、通常、[スピーカ出力] 端子は使用しません。
- [ライン出力] は [ライン出力調整ボリューム] で、[スピーカ出力] は [スピーカ出力調整ボリューム] で、それぞれ出力レベルを調節できます。
  右に回すと大きくなります。（最小にしても少し出力されます）
- 内蔵のスピーカからも電話保留音が聞こえます。

2 音声案内としてお使いのとき

① 起動信号

- 制御入力端子（接点入力）の COM 端子と M1 端子または M2 端子または M3 端子間に無電圧メーク信号が加わると起動します。

② 出力

- [ライン出力] および [スピーカ出力] へ出力します。
  - ・出力は、[ライン出力] または [スピーカ出力] のいずれか一方のみの出力端子をご使用ください。
- [ライン出力] は [ライン出力調整ボリューム] で、[スピーカ出力] は [スピーカ出力調整ボリューム] で、それぞれ出力レベルを調節できます。
  右に回すと大きくなります。（最小にしても少し出力されます）
- 内蔵のスピーカからも音声案内が聞こえます。

■ 音源をセットする

1 電源を切る。
- 電源コンセントから電源アダプタを抜く、または、後面の電源アダプタジャックからプラグを抜きます。

2 後面の機能設定スイッチで、設定番号を選ぶ。

3 電源を入れる。
- 現在、選択されているチャンネルランプが点灯します。（早く点滅しているときは、音源が録音されていません）

4 （選択）を繰り返し押して、チャンネル番号を選ぶ。
- 選択されたチャンネルランプが点灯します。（早く点滅しているときは、音源が録音されていません）

※ チャンネル番号を選ぶ必要のない設定番号の場合は手順５へ進みます。

5 （音源）を押す。
- 音源ランプが点灯します。
- 選択されているチャンネルランプが点灯します。

■ 音源を解除する

1（音源）を、ピーと鳴るまで（約２秒）押す。
- 音源ランプが消灯します。

ワンポイント

- 機能設定は、電源を切ってから切り替えてください。電源が入っているときに、設定番号を切り替えても切り替わりません。
- 音源がセットされているときは、（選択）を押しても、チャンネルは切り替わりません。音源のセットを解除してから切り替えてください。
- 該当のチャンネルに録音してないときは、ピピピピと鳴って、（音源）を押しても、セットできません。

接続のしかた

■ 電話保留音の場合

起動信号がＤＣ電圧のとき

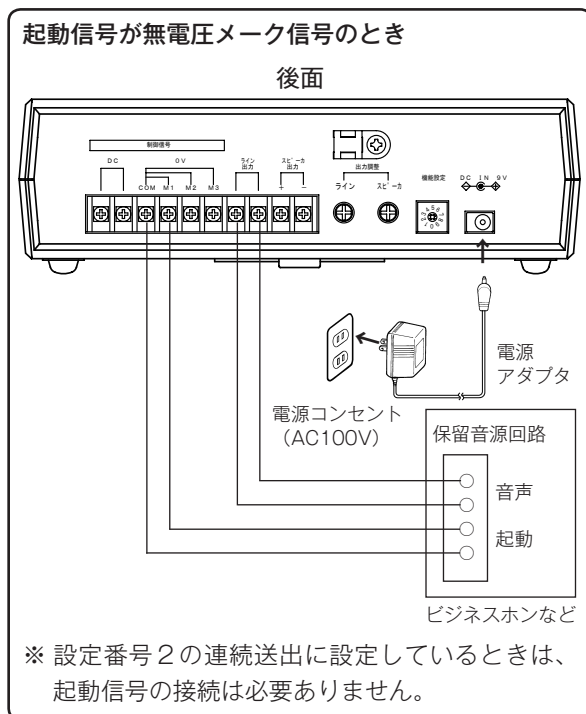
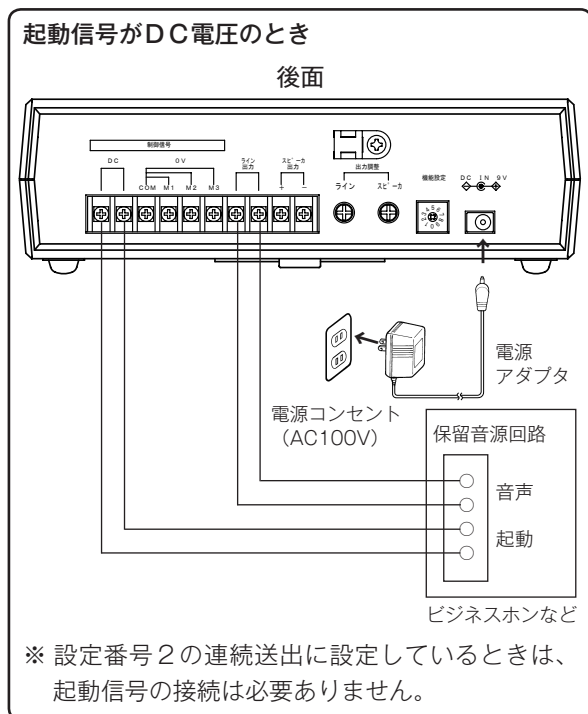
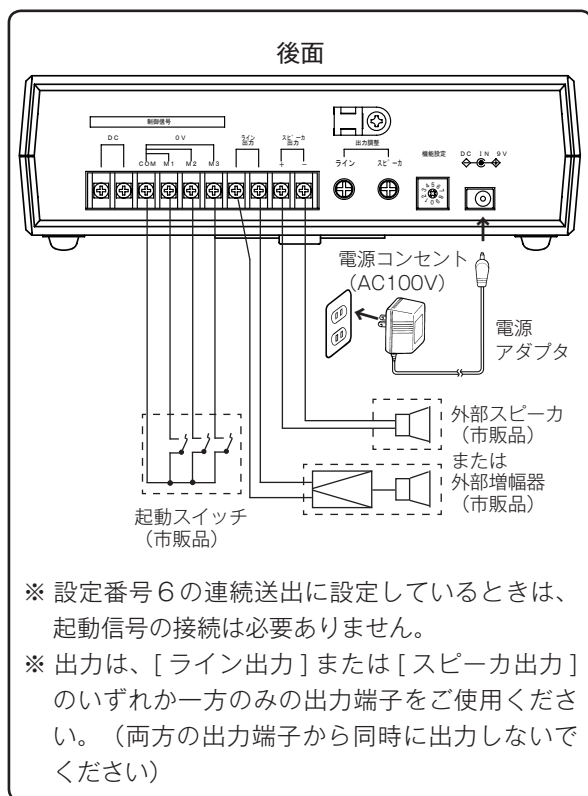
※ 設定番号２の連続送出に設定しているときは、起動信号の接続は必要ありません。

起動信号が無電圧メーク信号のとき

※ 設定番号２の連続送出に設定しているときは、起動信号の接続は必要ありません。

■ 音声案内の場合

※ 設定番号６の連続送出に設定しているときは、起動信号の接続は必要ありません。

※ 出力は、[ライン出力] または [スピーカ出力] のいずれか一方のみの出力端子をご使用ください。（両方の出力端子から同時に出力しないでください）

ワンポイント

- 接続工事をするときは、電源を切ってから行ってください。
- 端子へ接続した線は、配線結束止めで固定してください。
- 交換機やビジネスホンなどへ電話保留音として接続するときは、販売店または弊社営業所へご相談ください。
  ※ 交換機、ビジネスホンに外部保留音源回路がないとご利用できません。

故障とお考えになる前に

動　作	こんなときは	お確かめください	参照ページ
ランプ表示	すべてのランプが消えている	電源アダプタが電源コンセントに差し込んでありますか？	P.10
	チャンネルランプが全部点滅している	メモリーカードが正常にセットされていますか？ 機能設定が正しく設定されていますか？	P. 5 P. 8
	選択したチャンネルランプが、早い点滅している	選択したメッセージには、メッセージが録音されていません。 メッセージを録音してください。	P. 7
	レベルランプが点滅している	正しいメモリーカードが使用されていますか？ 指定のメモリーカード（ＧＦＣ－３０Ｍ）に替えてください。	P. 5
録　音	録音ができない	音源がセットされていませんか？ 音源がセットされていると、録音できません。	P. 7
	録音が解除される	録音ボタンを押してから、スタート／ストップボタンを押すまで、約２分以上ありませんか？ 約２分以上すると、録音を解除します。最初からやり直してください。	P. 7
再　生	再生しない	音量調節ボリュームが最小になっていませんか？ 音源がセットされていませんか？ 音源がセットされていると、再生できません。	P. 7 P. 9
セット	セットができない	選択したチャンネルのランプが点滅していませんか？ メッセージが録音されていません。 メッセージを録音してください。	P. 7 P. 9

主な仕様

項　目	仕　様
音源数	３種類
音声出力	１回路
DC 起動	ＤＣ電圧 (5V ～ 48V)
無電圧起動	無電圧メーク信号 (接点容量：DC10V,10mA 以上、500ms)
マイク入力ジャック	２ｋΩ不平衡　-50dBm　3.5 ㎜ジャック
テープ入力ジャック	50 ｋΩ不平衡　0dBm　3.5 ㎜ジャック
ライン出力	0dBm、600 Ω
スピーカ出力	2W (８Ω)
電源	専用アダプタ　入力：AC100V ± 10V(50/60Hz) 出力：DC9V
消費電力	待機時：2W ／動作時：10W
寸法	幅 190 ㎜×奥行 200 ㎜×高さ 59 ㎜
質量	約 640g

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、音声案内などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保　証　書

型　　　名	デジタルアナウンサー DA-310
保 証 期 間	お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	年　　月　　日

お客様	お 名 前	様
	電話番号	(　　)　　−
	ご 住 所	〒

販売店名／住所／電話番号

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無料修理いたします。
2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線・電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 ＜土・日曜日、祝日、当社指定休日除く＞

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。　株式会社タカコム

株式会社タカコム　本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1GG03400806R　May.2013